

第 2 2 回神奈川県障害者技能競技大会

ビルクリーニング 公開課題

◎ 一般的な注意事項

[共通事項]

1. 課題 1 のカーペット床清掃終了後カーペットを取り除き、課題 2 の弾性床の課題に入ります。
2. 2 課題とも、時間が定められています。
課題 1 : 7 分
課題 2 : 10 分
3. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
4. イスは折りたたみ式パイプイスとします。
5. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の 5 面から審査し、加点方式によって行われます。
6. 作業に適した服装をしてください。
7. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行ってください。
8. 作業ごとに入退室の際には会釈（軽く挨拶や礼）をします。
9. 所要時間を 1 分以上オーバーした場合は競技を打ち切ります。

◎課題 1 : カーペット床清掃

1. 作業面積は 16 m² (4m×4m) とし、幅木により区画されたものとします。
2. タイルカーペット床の吸塵の作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断した紙で 50m^l程度撒いたものとします。
4. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎課題 2 : 弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は 16 m² (4m×4m) とし、幅木により区画されたものとします。
2. 床材質は塩化ビニール系のタイル又は長尺シートの床面とします。
3. 床面の掃き・拭き作業及びゴミ処理・机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし 50m^l 程度撒いたものとします。

8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎資機材一覧表

(1) 各競技場に準備されているもの

ア. 課題1用

品名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型リンレイ RD-ECOII N	1台	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
イス	パイプ式折りたたみ	1脚	
ゴミ箱	角型	1個	

イ. 課題2用

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
作業標示板		1個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
ラージ (モップ房)	260g 白色	1枚	
小型ぼうき	30 cm幅用	1本	
乾式モップヘッド	63 cm	1枚	
文化ちり取り		1個	
タオル	無地 青色 水拭き用1枚 無地 白色 乾拭き用1枚	2枚	
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台	
イス	パイプ式折りたたみ	1脚	
ゴミ箱	角型	1個	

(2) 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1足	

(注意)

- 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。
- 障害特性により、競技参加において必要とする補助具等がある場合は、事前に事務局に申し出ること。ただし、競技の公平性や、会場設営の都合等を考慮した結果、必ずしも希望に添えない場合があること。
- これらの補助具等は、競技者自身が持参し、大会当日に競技委員立会いのもと導入する。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮はしないこと。

課題1 カーペット床清掃

時間：7分

作業仕様1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ウオンド・吸い込み口は事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行います。	吸込み口に手をあて、風量があるか点検します。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
除塵（真空掃除機）	① まず外側から、入り口付近を吸塵した後、作業場所へ入る。 ② 入り口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。 ③ ゴミ箱を移動して吸塵する。 ④ イスを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、元に戻す。 ⑤ 前進しながら吸塵作業をする。 ⑥ 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 吸込み口を床に強く打ち付けない。 本体は手で持って移動する。 プラグを持って抜く。	ゴミはシュレッダーで裁断したものを50ml程度撒いている。 掃除機のコードを持って抜かない。
点検	指差し及び目視点検を行う。	ゴミの取り残しがないか点検を行い、あれば処置する。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片づけ	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃

時間：10分

作業仕様1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<p>作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。</p> <p>(必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと)</p> <p>①柄の長さを調整する。</p> <p>②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。</p> <p>③①、②は事前に準備する。</p>	<p>資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p> <p>柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドは作業用カート上部の所定の位置に置く。</p>	<p>資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。</p>
競技開始の挨拶	<p>審査員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>片手をあげ、礼をする。</p>	<p>「始めます」と作業開始を申告する。</p>
作業準備	<p>①作業用カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。</p> <p>②作業標示板を立てる。</p>	<p>所定の位置に作業表示板を立てる。</p>	
入室の挨拶	<p>入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。</p>	<p>声を出して申告する。</p>
<p>イス上げとゴミ処理</p> <p>(1) イスを上げる</p> <p>(2) ゴミ回収</p> <p>(3) ゴミ袋のセット</p>	<p>①作業前にイスを机の上にあげる。</p> <p>②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。</p> <p>③ゴミ袋を作業用カートのゴミ袋に入れる。</p> <p>④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。</p> <p>⑤ゴミ箱を机の上上げる。</p>	<p>机は動かさない。</p> <p>イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。</p> <p>ビニール袋を正しくセットする。</p> <p>ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。</p>	
<p>除塵作業</p> <p>(掃き作業)</p>	<p>①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入口を除塵し、作業場所へ入る。</p> <p>②入口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。</p> <p>③前進しながら出口に向かって1箇所を集める。</p> <p>④ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑤使用済みのダスタークロスヘッドを外す。</p> <p>⑥柄とヘッドを作業用カートに戻す。</p> <p>⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。</p> <p>⑧ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑨小ぼうき、文化ちり取りを作業用カートに収める。</p>	<p>ゴミを踏まないように足場を確保する。</p> <p>ヘッドの辺の長い方を先行させる(赤印をつけてある)。</p> <p>ヘッドを床から離さない。</p> <p>使用済みクロスは作業用カートの袋の中に入れる。</p> <p>ヘッドは、作業用カート上部の所定の位置に置く。</p> <p>ヘッドはスポンジ面を上にして置く。</p> <p>ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。</p>	<p>ゴミはおがくずを50ml程度均等に撒いている。</p> <p>点検の際に声をださないこと。</p>

課題2 弾性床清掃及び机上清掃

作業仕様 1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き (モップ)	<ul style="list-style-type: none"> ①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとおきの足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。 	<p>拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>横拭きは柄の先端を親指で添えて握る。</p> <p>幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>拭いたところを踏まないようにする。</p>	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下ろす。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	<ul style="list-style-type: none"> ①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を青色タオルで水拭きする。机の縁を含めて、四隅から中央へと行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。 	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業用カートに収納し、作業用カートを所定の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	声を出して申告する。